

かじか



令和2年6月30日
岩国市立美川小学校

学校一体での地域貢献

校長 村 重 忠

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、本校も約1ヶ月にわたっての休校となりましたが、保護者や地域の皆様方の御協力により、授業の目立った遅れもなく、無事1学期を終えることができそうです。

ただ、1ヶ月間の休校分の学習時間を取り返すべく、1学期は7月31日まで、2学期は8月24日からのスタートということになりました。加えて6月頃までは参観日や学校運営協議会会議、各種集会等の中止を余儀なくされ、保護者や地域の皆様に御挨拶もできぬままでおりました。

幸い、現在ではこういった一連の行事等は十分な感染対策を講じた上で開催が可能になり、先月末には本年度最初の授業公開、救急救命法講習会が実施でき、今月初旬にはこれも本年度初めての学校運営協議会会議を開催の運びとなりました。教職員全員が皆様に直接御挨拶をさせていただき、ともに子どもを育てる仲間入りをさせていただくことができます。

さて、4月にお話ししましたとおり、本校は地域の皆様からの学校支援をふんだんにいただいております。今年度は玖北地区小学校音楽会の開催が危ぶまれておりますが、美川観音太鼓は今年も引き続き御指導いただき、長年受け継がれている美川町の文化に触れる機会を提供していただきます。また、学校施設使用の制限によりしばらくお休みしておられたグラウンドゴルフも再開されたので、児童とのふれあいの機会をいただく予定となっております。

このような皆様からの支援に対して、地域貢献という形で恩返しをというのは日頃から児童に言い聞かせているところですが、美川ふるさとまつりやかじかの里ウォーキングへの参加等を通じて具現化させていただいております。

加えて学校職員においても、美川町の学校に勤務させていただいている以上、地域の住民になったつもりで地域のお役に立てることがあればという思いで今年度をスタート致しました。町の催しや行事、その準備等へはできるだけ参加させていただき、職員の顔を覚えていただきたいと思いますし、職員にも皆様の顔を早く覚えたいと思っております。

このような「児童・職員による、学校一体での地域貢献」により、児童・職員が地域の方々とお話しさせていただく機会を通して、本校の研究主題でもある「自分の思いや考えを伝え合うことのできる児童の育成」に役立てさせていただきたいと思いますし、職員にもコミュニティ・スクール推進の基礎となる「地域とのつながり」を密にしてみたいと思っております。